

No.	13-2-4	場所	大鹿村北川	次世代への継承キーワード
名称	増水で落ちた橋			避難路確保 / 情報伝達網整備
災害現象	洪水氾濫・橋梁の被災			河川 鹿塩川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 **大鹿村** 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

大鹿村北部の鹿塩川上流の北川では鉄砲水が襲い掛かり、人命・家屋・農地が失われた。

鹿塩川沿いあった北川分校は土石流によって破壊され、西山で発生した地滑りは、鹿塩川を一時的にせき止め、架かっていた橋は流された。荒れ地となった北川集落は、全戸集団移住を余儀なくされた。

●体験談： Y.Nさん 災害当時 25 歳・役場職員

当時上市場の公民館の隣に下宿し、大鹿村役場の林務課に技術者として勤めていました。

29日、「誰か北川へ様子を見に行け」と声がかかり、私を含めて3人が北川集落へ向かいました。といっても、**道路はすでに寸断されています。山越ししか手がありません。**鹿塩川の左岸の山を登り中峰に着いたとき、私たちは大西山が崩壊するのを目撃しました。大変なことが起こっているとは認識していましたが、ここからでは何もわかりません。私は仲間とともにさらに山を登り、黒河山から大花沢を経て北川へと向かいました。

北川の集落を目の前にしましたが、とても近づける状況ではありません。それに3人では何もできません。集落の人もここへは降りられないから帰れと叫んでいます。むなしい思いを抱えながら、私たちは引き返しました。役場まで戻ったのは夜中の12時過ぎでした。間近に大西山崩壊の現場を見た私たちは、ここが自分の村だとはにわかに信じることができませんでした。それほどの惨状だったのです。

（「長野県災害体験集～三六災害」より）

記 録



鹿塩川の増水で落ちた橋

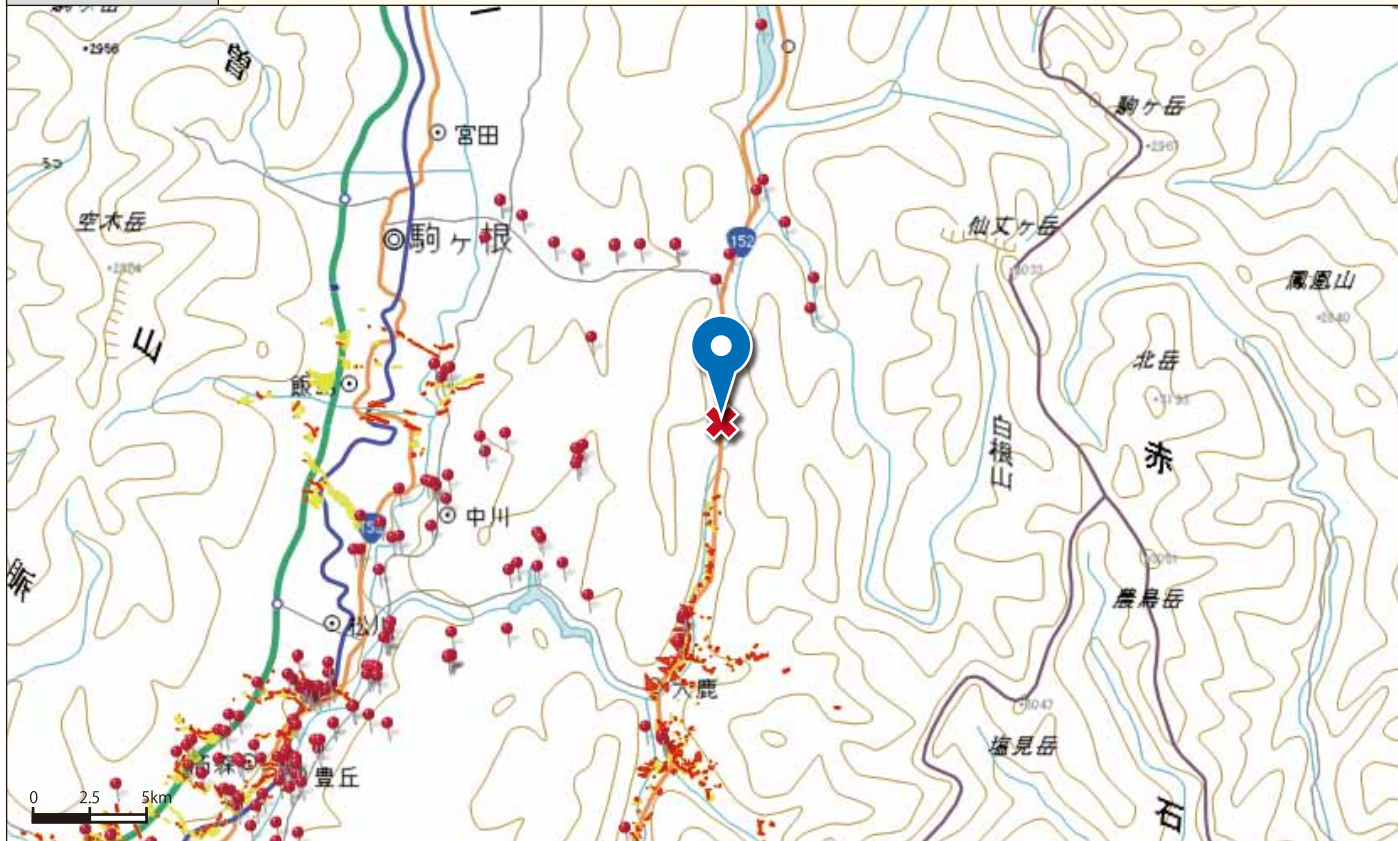
出典 「続・濁流の子」p.9/「長野県災害体験集～三六災害」（ホームページ参照）

備考

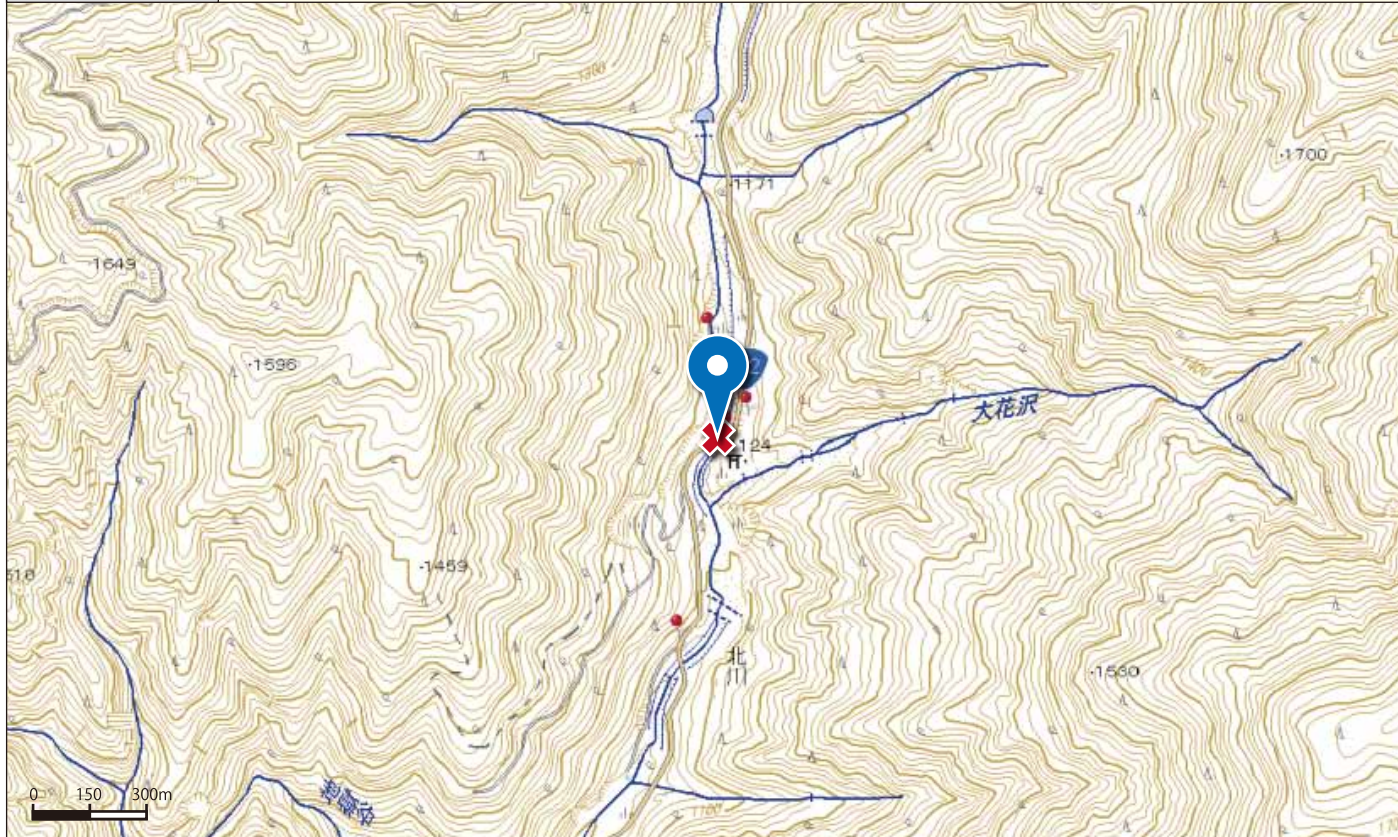
No.	13-2-4	場所	大鹿村北川	緯度	35.662641
-----	--------	----	-------	----	-----------

名称	増水で落ちた橋	経度	138.064370
----	---------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---